



共同国際シンポジウム

主題：近現代日中関係への

多角的な視点



主催：一般社団法人・東北亜未来構想研究所（INAF）

早稲田大学東アジア国際関係研究所

後援団体：

公益社団法人・日本モンゴル協会（理事長：窪田 新一）

北東アジア学会（会長：三村 光弘）

北東アジア研究交流ネットワーク（代表幹事：谷口 誠）

公益財団法人・渥美国際交流財団（理事長：渥美 直紀）

一般社団法人・全日本中国朝鮮族連合会（会長：馬 洪哲）

北陸中日新聞

東京新聞

賛助団体：

株式会社 DigiFocus（代表取締役：金 成徳）

趣旨：今年（2022年）9月は日中国交正常化50周年、日本と中華民国の国交断絶・非政府間実務関係への転換50年目という重要な節目の年である。ところで、日中関係の変遷を50年から、近現代110年（1912年の中華民国成立～）のタイムスパンに拡大し、歴史的な視点で再検証することが必要不可欠であろう。それを通じて日中関係の過去・現在を再認識し、未来志向の関係構築に向けて叡智を模索することが、本国際シンポジウムの趣旨である。

日時：2022年10月22日（土）13:00～18:10

場所：早稲田大学早稲田本部キャンパス14号館102教室

（基本は対面形式、個別的にzoom使用）

開会式：13:00～13:20

総合司会：李 鋼哲・INAF 所長

開会の辞：平川 均・INAF 理事長

劉 傑・早稲田大学教授・同東アジア国際関係研究所所長

谷口 誠・INAF 最高顧問、元日本駐国連大使、元 OECD 次官

基調講演：13:20～14:20

1. 劉 傑・早稲田大学教授

テーマ：日中関係の50年、世界に貢献したもの

2. 花田 鷹公・INAF 顧問・元日本駐モンゴル国大使、元日本駐中国瀋陽領事館領事

テーマ：北東アジアの展望で日中関係を考える—香港、瀋陽に勤務して—

休憩：15分

第1セッション：近現代の中国のトップ・リーダーの対日認識と日中関係

14:35～15:55

司会：羽場 久美子・INAF 副理事長、神奈川大学教授

第1報告：陳 柏宇・INAF 理事・新潟県立大学

テーマ：孫文時代から蔡英文時代までの変遷

第2報告：李 鋼哲・北陸大学

テーマ：毛沢東時代から習近平時代までの変遷

討論者：佐渡友 哲・INAF 理事/劉傑・早稲田大学教授

質疑応答

休憩：15分

第2セッション：若手研究者セッション（16:10～18:00）

司会：川口 智彦・INAF 理事・日本大学

第1報告：王培璐・早稲田大学大学院博士後期課程

テーマ：天安門事件後日本の対中経済協力再開をめぐる

討論者：李 鋼哲・北陸大学

第2報告：金 明花・INAF 理事・神奈川大学

テーマ：実証分析から見る日本の外国人技能実習

討論者：佐渡友 哲・INAF 理事・日本大学

第3報告：松本 理可子・INAF 理事・早稲田大学現代中国研究所

テーマ：文化的再生産の萌芽—清朝後期の同仁堂にみる企業フィランソロピー

討論者：朱 永浩・INAF 理事・福島大学

質疑応答：

閉会の辞：18:00～18:10 李 鋼哲 INAF 所長

申込：名前、所属、連絡先メールアドレスを下記にメール。E-mail: kklichard@gmail.com
(対面参加の場合はメールの上、直接会場にお越しください)

参加費無料。オンライン参加の場合：Zoom URL：<https://hokuriku-u-ac-jp.zoom.us/j/3603001872?pwd=cTJlbE1kUElNeVZsUXE0S3R6R3gwdz09>

ミーティング ID: 360 300 1872 パスコード: 1A9XFj